アジア・ビジネス研究会インド視察報告

資料番号;H31-001

作成;小川啓介

1.インドの地理・地形

7.インド市場の可能性と課題

3.アジャンタ石窟群

8.その他(インドの現地法人、交通ほか)

4.エローラ石窟群

2.インドの歴史

9.まとめ

6.ムンバイ視察

5.ムガル帝国と建築物

* 視察旅行には、アジア・ビジネス研究会の8人のメンバーが参加した。

旅行期間 2018年9月28日~10月5日

月日	地 名	主な視察/見学先
9月28日	成田空港⇒デリー着(泊)	
9月29日	デリー⇔アグラ、デリー(泊)	タージ・マハル、アクバ城
9月30日	デリー⇒オーランガバード (泊)	デリー市内観光
10月1日	オーランガバード(泊)	エローラ石窟群
10月2日	オーランガバード ⇒ ムンバイ (泊)	アジャンタ石窟群
10月3日	ムンバイ (泊)	インド日本郵船訪問
10月4日	ムンバイ⇒成田	ムンバイ市内観光
10月5日	成田着	

インドの地理・地形 気候

南西を<u>アラビア海</u>に、南東を<u>ベンガル湾</u>、 7000kmの<u>海岸線</u>をもつ。

北・中央部; ヒンドゥスターン平野

<u>南部</u> ; <u>デカン高原</u>

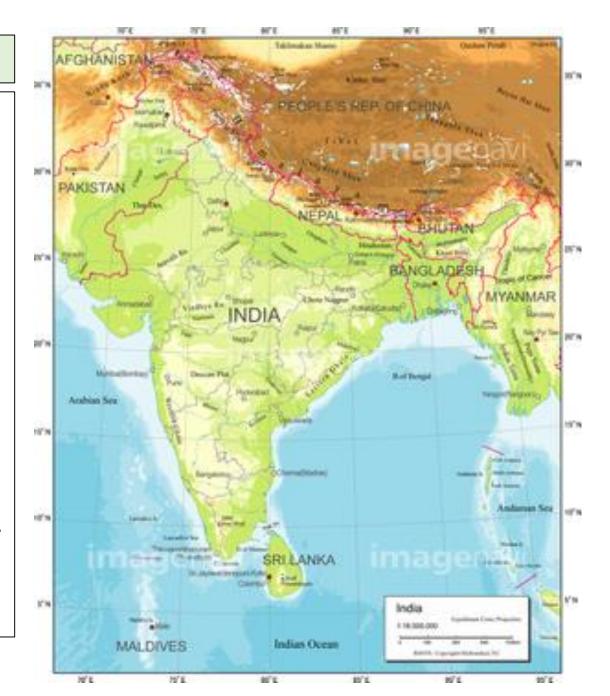
総面積は190万㎞、ほぼ平坦で

標高は 300m-600mである。

西部には<u>タール砂漠</u>がある。

<u>北部の</u>国境地帯は<u>ヒマラヤ山脈</u>が占める。

<u>冬</u> (1-2月)、<u>夏</u> (3-5月)、モンスーン(または雨季:6-9月)、モンスーン明け(10月-12月)、モンスーン以外の季節は乾季。



インドの歴史

1.インダス文明

7.グプタ朝

2.アーリア人の侵入

8.ヴァルダナ朝

3.仏教の始まり

9.奴隷王朝

4.ジャイナ教

10.ムガル帝国

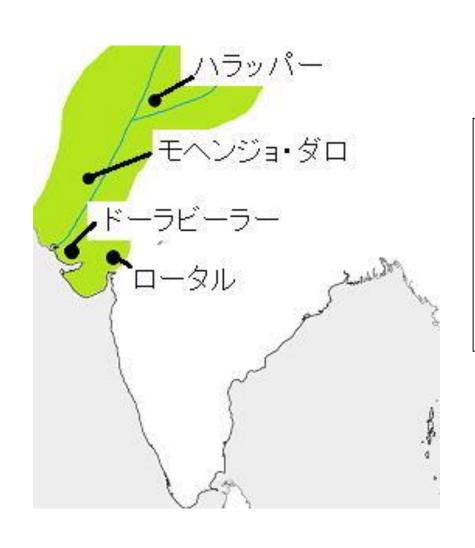
5.マウリア朝の成立

11.インド民族運動

6クシャーナ朝

12.インドの独立

1.インダス文明

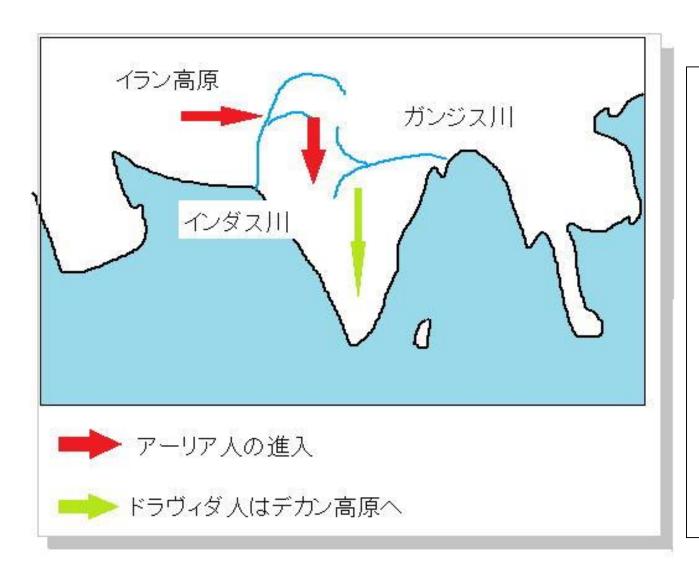


インダス文明

紀元前2300年~紀元前1800年ごろ

- ・トラヴィダ人が起こした文明と されている。
- なぜ衰退してしまったのか現在 よくわかっていない。

2.アーリア人の侵入



アーリア人の侵入

- ・紀元前1500年頃から侵入してきた。牧畜や農耕を営んでいた。
- ・ドラヴィダ人の多くは有色人種、 アーリア人の多くは肌が白かった。
- ・「ヴァルナ制」;四つの身分
 - ①バラモン (祭司)
 - ②クシャトリア (貴族戦士)
 - ③ヴァイシャ (庶民)
 - 4)奴隷
 - 身分階級の原型が成立した。

3.仏教の始まり/4.ジャイナ教

◆仏教の始まり

- ・紀元前6世紀ごろ、ガンジス川流域にコーサラ国、マガタ国が覇権を争うようになった。
- ・両国の間に釈迦族という小さな国家があり、紀元前5世紀の王様の息子が 「ブッダ」(釈迦)であった。

◆ジャイナ教

- ・仏教と同時期におこった宗教で、ヴァルダマーナが説いた宗教。
- ・厳しすぎるともいえる教えのため、仏教のように広まることはなかった。 現在でも<u>450万人ジャイナ教徒</u>がいるといわれている。
 - IT、出版、金融などで働いている人が多く、業界内での評判が良く、 顧客からの信頼が非常に高い。

5.マウリア王朝



マウリア王朝

・紀元前317年、初めてインドを統一。

アレクサンドロス大王が遠征し攻撃を仕掛けて、撤退したあとも複数のギリシャ系 政権が成立、その後ギリシャ人を一掃、 ほぼインド全域を領土とした。

・最盛期は、3代目のアショーカ王、 仏典結集(けつじゅう)を支援。

アジャンター開窟 前期(第1期)

・紀元前1世紀から紀元後2世紀の サータヴァーハナ時代に築かれている。 第 9 .<u>10</u>、<u>12</u>、13窟

6.クシャーナ朝



クシャーナ朝

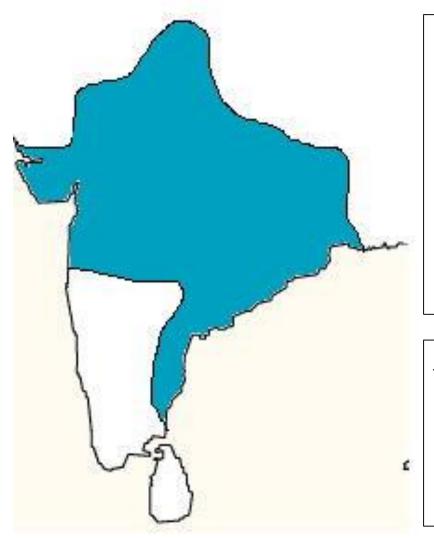
- ・1世紀から3世紀、インド西北部に 栄えた王朝。
- ・有名な王は、カニシカ王で中国(漢) とローマ帝国のあいだにあり、 東西交易で多額の利益を得た。
- ・<u>大乗仏教</u>が成立、中央アジアに伝わり、 朝鮮を経由して日本に伝来。

参考;

敦煌石窟、千仏洞の仏教遺跡は、4世紀から約千年間、元代至るまで彫り続けられた。

7.グプタ朝

4~6世紀のグプタ朝領域



グプタ朝

- ・320年頃成立、最盛期はチャンドラグプタ2世の時代で、北インドをほぼ成立した。 ・200年以上続いた王朝で、文化的には非常に重要
- な時代。

 - ▶戯曲「シャクランタラー」、「マヌ法典」 ▶「ゼロの概念」の生み出される。 ▶ナーランダ僧院 ;多くの留学生受け入れる。

アジャンター開窟 後期(第2期)

- 5世紀後半から6世紀中半
- 第<u>16</u>、<u>17</u>窟 ほか

8.ヴァルダナ朝



ヴァルダナ朝

- ・7世紀前半、北インドにおこった王朝で・ハシャ ルナ・ヴァルダナが創始者、606~647年の短期間
- ・玄奘(三蔵法師)が訪れる。

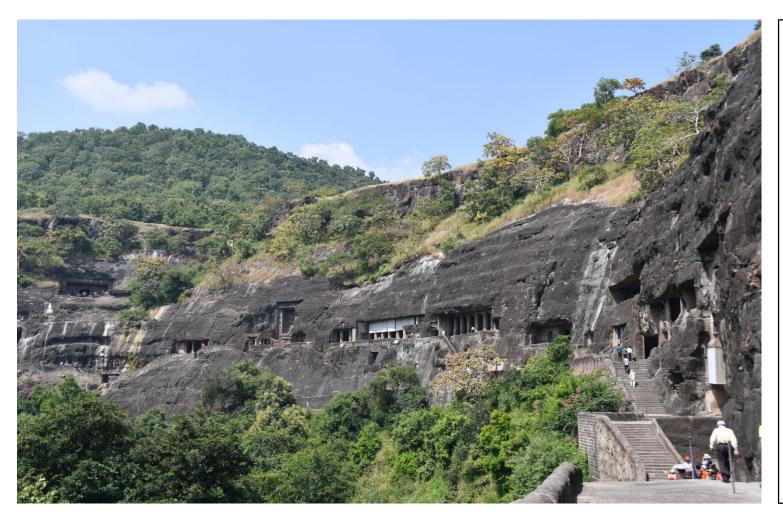
この王朝が崩れて、13世紀ごろまでは北インドには 統一王朝は現れなかった。

エローラ石窟群

・仏教石窟群

- 5世紀から7世紀
- ・ヒンドゥー石窟群 7世紀ごろから作られ始めた。
- ・ジャイナ教石窟群 9世紀から10世紀

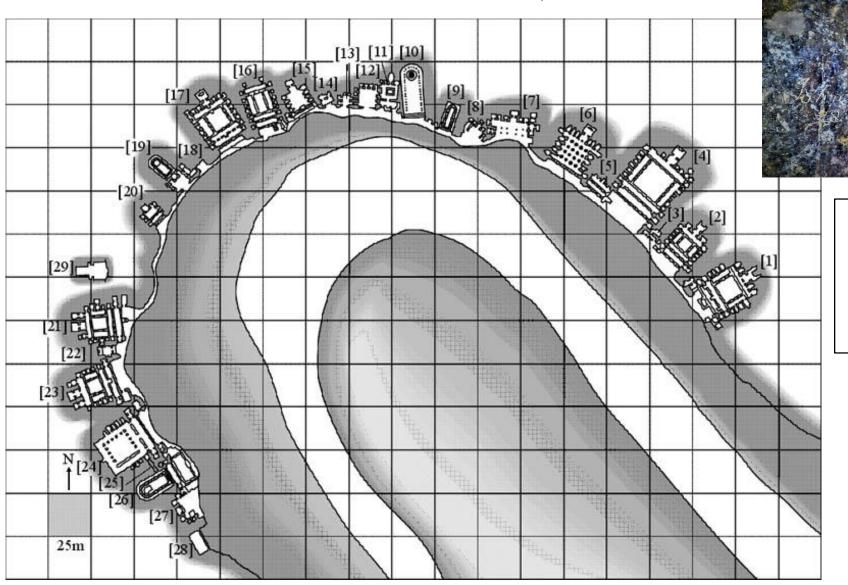
アジャンタ石窟寺院



英国人ジョン・スミスが 狩猟時に発見1819年

世界遺産

アジャンタ遺跡の配置



Jhon Smith cavalry (騎兵隊) 28 Apil 1819 (第10窟の壁にサイン)

アジャンタ石窟寺院 前期 (BC1~A D2)

・前期は、上座部仏教または<u>小乗仏教</u>とも呼ばれる期である。最初は僧侶たちの生活、修行の場であったため装飾が少なく、小型で簡素な造りである。



- チャイティヤ窟 (寺院)9,10窟
- ヴィハーラ窟(修道院)12,13,15 A 窟
- **▼10窟** 後陣にストゥーバ (仏塔)

第10窟 柱の仏画

石のベッド 僧侶、修行者用



